応募題名

【応募者】○科学　花子1、技術　太郎2　（1日本科学大学、2技術振興大学）

【指導教員】振興　次郎（日本科学大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 | ・模擬した内容（具体的に）  ・何を学ぶことができるのか（伝えたいこと） |
| 対象（1つに限定） | 小学校（　低　・　中　・　高　）・　中学生　・　高校生 |
| 参考文献、  使用する実験道具等 | これまでの先行研究論文、書籍、既存の実験道具などを積極的に活用して引用すること（参考文献等のない予稿は、その内容が非常に優れていたとしても信頼性は低いものとして審査する） |
| キーワード | （例）紙芝居、着ぐるみ、CGｱﾆﾒｰｼｮﾝ、人体影響、自然放射線、放射線の種類と透過力、霧箱等 |

1. アピール・ポイント

　応募要項、審査基準の内容を参考に、アピール・ポイントを書いてください。

【審査基準（抜粋）】

1) 学校等における放射線教育の普及啓発

・対象と伝えたい内容が、発達段階に合わせて適切に設定できているか

・教職員にとって取り組みやすい内容となっているか

・材料が、安価かつ入手しやすいものであるか

2) 放射線に関する正確な知識理解、普及啓発

・目的が明確であり、伝えたい内容が、わかりやすく表現・模擬できているか

・教材が表現・模擬できていない（誤解を生む可能性がある）内容を区別し、その理由を科学的に説明できているか

・応募教材に関係する先行研究、参考文献をひろく引用しているか

・福島第一原子力発電所の事故以後今もなお根強く残る風評や偏見・差別の払拭への寄与が期待されるか

2. 内容

以下の例のように簡潔に書いてください。

1) 教材

　教材の仕組み、素材等。

2) ブース実演

①（例）紙芝居による導入

②（例）測定器による実験

③（例）まとめ

3. 注意事項

誤解されやすい内容について、教材の中で模擬できた部分とできなかった部分に棲み分けして、具体的に説明してください。

4. まとめ

　教材やブース実演により目的が達成されると考える理由、期待される成果や展望について書いてください。

※予稿の作成方法

予稿は、上記1.～4.の4項を漏れなく記載し、以下について留意しながら作成してください。小見出しについては任意とし、上記に従う必要はありません。

1) 用紙サイズはA4とし、余白を上下左右25 mm設定して下さい。ページ数は1枚です。2枚以上とならないようにご注意ください。

2) 使用するフォントは、応募題名のみゴシック体、それ以外は明朝体として下さい。

3) 応募題名は、14ポイント（ゴシック体）とし、第1 行目に中央揃えで配置して下さい。

4) 所属（学校名）及び氏名は、11 ポイント（明朝体）とし、第2行目に書いてください。応募代表者には○をつけてください。

5) 対象、キーワードを、枠の中に、11 ポイント（明朝体）で記述してください。

6) 本文は、対象、キーワードを記した枠との間に空白行を1行空けた後から、段数を2 段で10 ポイント（明朝体）で記述してください。

7) 見出しには、下線書式を設定してください。

8) 図表及び写真等を本文中に挿入する場合は、鮮明なものを使用してください。

9) 原則PDFファイルで提出ください。やむを得ぬ場合はWord形式での提出を認めます。